

開催日時	令和2年11月27日（金）9時30分から11時00分まで
参加者	委員：13人 関係機関：11人
場所	五島協働センター ホール
内容	<p>1. 開会</p> <p>2. 会長挨拶</p> <p>3. 協議内容 <u>テーマ：居場所の効果・地域の状況について理解を深める</u></p> <p>①居場所の効果・市内の居場所の事例について コミュニティソーシャルワーカーよりパワーポイント資料を用いて講話。</p> <p>②フレイルと社会参加の効果について 地域包括支援センター芳川より相談事例を説明。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インフルエンザの流行期に体操が半月休みになった。 →転倒する高齢者が増加。 ・コロナの影響で将棋クラブに行けなくなった人。 →転びやすく物忘れしやすくなった。“取られた”と妄想してしまい、身近な人に辛く当たってしまう人もいる。デイサービスをすすめても、コロナが流行していることで気が進まず行けない。 ・今までバスでジムに行っていた人。 →コロナでバスに乗るのが怖くなり行けなくなった。運動不足で不安だと相談があった。 ・毎週末、県外から家族が来てくれていた人。 →「施設のコロナ感染対策により、県外の人と接触した人はデイサービスを休まなければいけないため、高齢者宅に家族が来られなくなった。見守りをしてもらえないか」という相談があった。 ・閉じこもりになっていた人。 →地域の活動に行ったことで元気になった。 ・買い物に行くことや近所でおしゃべりすることも社会参加の1つ。 <p>地域包括支援センター芳川よりフレイルについて説明。 ※フレイルについての資料を用いながら、心身機能のチェックの仕方やフレイルにならないように気をつけるポイントについて紹介。</p>

	<p>③訪問した地区の様子について</p> <p>生活支援コーディネーターよりパワーポイントで訪問した地域の様子を報告。 五島地区遠州浜団地と河輪地区三新町（町内のシニアクラブの活動も含む）について。</p> <p>④地域資源マップの確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度、新しく増えたサロンの取り込みができた。活動名称や会場名の取り込みは途中の段階。 ・シールが貼ってあってもどんな活動が行われているのかがわからない箇所がいくつかあったため、今後わかるようにしていく。 <p>4. 次回開催予定</p> <p>2月頃に開催する予定。日程が決まり次第お知らせしていく。</p> <p>5. 連絡事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係機関連絡会についてお知らせ ・感想シートについてお願い <p>6. 閉会 副会長よりまとめの言葉</p>
<p>今後の見通し等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今ある居場所を確認し、どう活用していくことができるのかを検討する。 ・居場所が必要とされる場所には新たに作ることを検討を進める。